

# モード2 充電接続装置 ブラケット取付説明書

**ご使用前にこの説明書を  
よくお読みください**

ご購入ありがとうございます。この製品を正しく使用するためには、必ずこの説明書をよく読んでください。

車に伴う充電製品はブラケットに合わせて使用しなければならず、ブラケットの取り付け条件を備えていない場合は、フックやその他の方法で制御ボックスを固定して、プラグの挿着部の力による落下および接触不良を防止しなければなりません。この操作を行わないと、製品の品質保証に影響します。

## 1 安全上の注意事項



警告！

感電、火災、人身傷害等の発生の可能性を防ぐために：  
製品を使用する前に、すべての説明を読んでください。  
製品が破損している場合は、使用しないでください。  
製品の動作に異常がある場合は、使用しないでください。  
製品は専門の電気技師に依頼して設置し、設置規範に従って操作してください。  
勝手に製品を分解しないでください。  
充電プラグのジャック等に指を入れしないでください。  
充電が終わったら、充電プラグを巻きとってプラグ掛けブラケットに置き、充電プラグが引っ張られて落ちないようにしてください。  
製品が正常に使用できない場合は、専門のアフターサービススタッフに修理を依頼してください。

## 2 ブラケット取付補助材

取付工具：ドリル、ドリル、スリーブ、手袋。

### ブラケットの取付

シーケンス番号	名称	数量	部品の概略図
1	ファンクションボックススタンド	1	
2	ガンマウント	1	

## 3 スタンド取り付け仕様

1.機能ボックスを固定ブラケットに入れる；



図1 制御ボックスの取り付けブラケットの概略図

2.電源プラグをコンセントに差し込む；



図2 プラグ挿入ソケットの概略図

3.ファンクションボックススタンドとコンセントは1つの平面上に、ファンクションボックススタンドを配置して固定させます。ケーブルの長さは約21 cmです。電源プラグを差し込んだ後、下向きの引張力を受けないようにファンクションボックススタンドを取り付けてください。



図3 所定のブラケット取付位概略図

メモ：コンセント付近に取付穴が開けられない場合、非パンチ可能な平面がある場合は、アダプタ取付板を配置するか、取付ブラケットを設置するなどの装置を設置して取り付けることをお勧めします。

4.マーカーペン等を用い、ファンクションボックススタンドの取付穴の位置を固定し、穴を開けます。そして同様の方法で、プラグ掛けブラケットの取り付け穴の位置を確定して穴を開けます。穴の直径は8mm、模式図4を参照ください；



図4 ブラケット取付穴操作模式図

5.M 6 膨張ボルト\*を用いて固定ブラケットを取り付けます。締付トルクは2~3 N・mです。膨張ボルトの取り付け方法は図5を参照し

てください。(設置状況にあったボルトをご用意ください。)



図5 膨張ボルト取付模式図

6.モード2の充電接続デバイスをブラケットに固定します。完成イメージは図6参照；

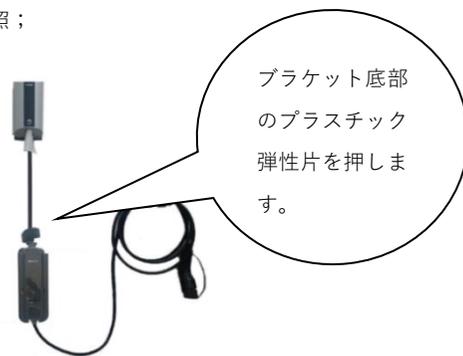
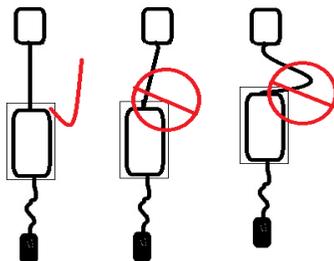


図6 インストール後の完成イメージ



7.モード2の充電接続装置を取り外したい場合は、まず機能ボックスホルダーの底にあるプラスチック弾性片を押してから、図7の

ように制御ボックスを上スライドさせてください。



図7 制御ボックスの取り外し操作の概略図

水平に設置する必要がある場合は、下図の配置を参照してください。電源ケーブルは給電コンセントの引出線のところで垂直にしなければなりません。また、プラグケーブルを斜めに引いたりねじったりせず、コンセントの接触不良を起こさないようにしてください。

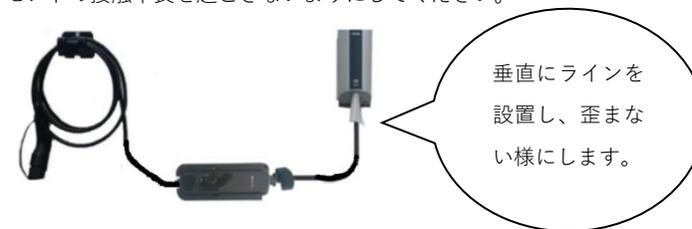
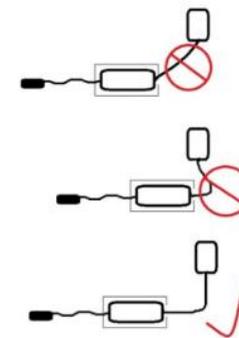


図8 制御ボックスホルダ水平取付模式図



メモ：上記の設置基準に厳格に従って実行してください。手順通りに機能ボックスとスタンドを設置しないと、安全上の危険性がある可能性があります。